

## 学院福音化 2022年1月 あらかじめ征服

### 創世記1:27, 28

神は人をご自身のかたちとして創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。「生めよ。ふえよ。地を満たせ。地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。」



### 征服

「征服」について聖書から正しく理解しましょう。

「征服」ということばは、単語としては肉的に聞こえるかもしれません、「征服」は徹底的に靈的な意味のことばです。神様のみことばである聖書は、はじめからその意味を伝えています。

### 創世記1:1 初めに、神が天と地を創造した。

創造主の神様、自らおられる方（「わたしはある」という方）、永遠の前から永遠までおられる方、唯一栄光を受けるべき方、その方が私たちが信じている神様です。

### 創世記1:2

地は荒漠として何もなかった。やみが大水の上にあり、神の霊が水の上を動いていた。

荒漠、混沌（なんのかたちもない）空虚（なにもない）暗やみ、その中で



### 創世記1:3

神は仰せられた。「光があれ。」すると光があった。

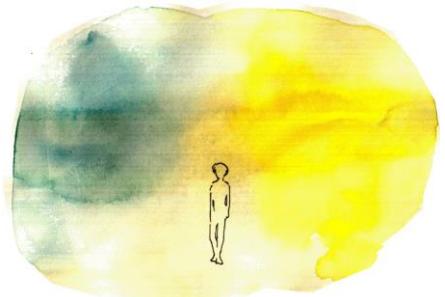
この光は、蛍光灯や太陽の光ではありません。この光が「征服の光」です。

神様が創造されたすべてが、元の創造の目的どおりに神様の栄光があらわされるところにあることが「征服」です。

## 人間の墮落で征服の祝福を失いました

しかし、創世記3章でアダムとエバが善悪の知識の木の実を取って食べた事件のあと、唯一、神のかたちとして創造された人間（=神様に絶対的に依存して存在するべき人間）が、創造の秩序から抜け出しまして、創造の目的が壊れてしまいました。神様から離れたのです。

神様が創造されたすべてを征服して治める祝福を受けた人間でしたが、人間の墮落によって、造られたすべても墮落するようになりました。



## 征服の祝福の回復は神の子どもによって

ローマ 8:19

被造物も、切実な思いで神の子どもたちの現われを待ち望んでいるのです。

ここで言う神の子どもはローマ8:14「神の御靈に導かれる人は、だれでも神の子どもです。」

また、コリント12:3「…聖靈によるのでなければ、だれも、『イエスは主です』と言ふことはできません。」と書いてあるように、イエスを主として、キリストとして受け入れて告白する私たちが神の子どもです。ですから、被造物が私たちを待ち望んでいます。

神のかたちが回復された神の子どもの私たちによって、この世、また、すべてのすべての被造物が創造の秩序、まことの征服のところに回復されるのです。



## 神の子どもになるには

どのようにして神の子どもになったのでしょうか。

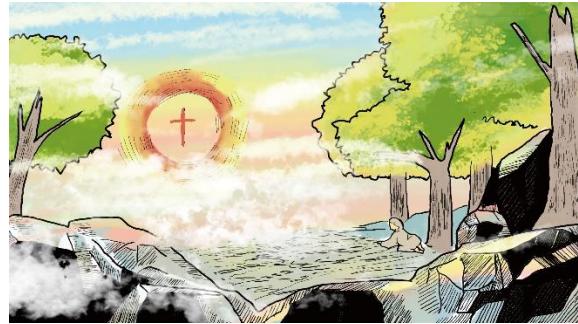
それは、イエス・キリストの十字架の架によってです。

ですから「あらかじめ征服」の祝福を味わうためには、十字架ですべての問題を解決したイエス・キリストをただ信じればよいのです。イエス・キリストの中に留まっていることだけで十分です。

私たちがこの世を征服するためには、なにか一生懸命、熱心にするのではなく、ただ征服者であり、神の国を私たちに与えてくださったイエス・キリストだけを信じて、毎日、朝、昼、夜にイエスがキリストであることを告白して、もはや私が生きているのではなく、キリストが私の内に生きておられることを、確認することだけで十分です。



2022年、新しい日が来ます。すべての出会い、できごと、学業、産業、事業、すべてのことの中で、ただイエス・キリストを信じて、イエスとともに生きているなら、征服はあらかじめ私のものとなります。



#### ガラテヤ 2:20

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。